



## 2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月12日  
福

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福  
 コード番号 7441 URL <https://kk-misumi.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 慶介  
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長 (氏名) 今林 俊人 (TEL) 099-260-2213  
 定時株主総会開催予定日 2022年6月23日 配当支払開始予定日 2022年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日~2022年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	61,266	16.7	927	△30.5	1,383	△22.5	485	△27.5
2021年3月期	52,496	△8.5	1,334	11.7	1,783	10.0	669	30.9

(注) 包括利益 2022年3月期 259百万円(△81.4%) 2021年3月期 1,399百万円(398.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	83.95	—	2.8	3.9	1.5
2021年3月期	112.85	—	4.0	5.1	2.5

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 一百万円 2021年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	36,049	17,429	47.5	2,968.41
2021年3月期	34,687	17,460	49.5	2,967.04

(参考) 自己資本 2022年3月期 17,131百万円 2021年3月期 17,173百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	1,364	△2,077	457	3,387
2021年3月期	1,720	△1,201	△2,148	3,642

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00	264	39.9	1.6
2022年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	231	47.7	1.3
2023年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		40.6	

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,906	10.5	226	7.4	406	△5.6	257	2.5	44.62
通期	64,020	4.5	825	△11.0	1,131	△18.2	568	17.2	98.57

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2022年3月期	6,100,503株	2021年3月期	6,100,503株
2022年3月期	329,369株	2021年3月期	312,569株
2022年3月期	5,779,763株	2021年3月期	5,929,433株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	59,211	17.3	862	△31.5	1,322	△22.3	467	△27.3
2021年3月期	50,465	△8.7	1,257	13.0	1,705	10.4	642	33.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年3月期	80.83		—					
2021年3月期	108.42		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	35,328	16,761	47.4	2,904.38
2021年3月期	33,887	16,802	49.6	2,902.98

(参考) 自己資本 2022年3月期 16,761百万円 2021年3月期 16,802百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,831	10.5	415	△5.2	282	3.3	48.98
通期	61,809	4.4	1,104	△16.5	539	15.5	93.49

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	16
4. 個別財務諸表 .....	17
(1) 貸借対照表 .....	17
(2) 損益計算書 .....	19
(3) 株主資本等変動計算書 .....	20
5. その他 .....	22
(1) 役員の変動 .....	22

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、個人消費・経済活動ともに大きく停滞することとなりました。ワクチン接種により人の流れも増加するなど回復の兆しが見られましたが、新たな変異株の感染拡大による景気回復の遅れやウクライナ情勢の影響による物価上昇が懸念され、厳しい状況が続きました。

このような状況の中で当社グループは、店舗における基本的な新型コロナウイルス感染症予防策(ワクチン接種・マスク着用・アルコール消毒・三密回避等)の徹底を継続するとともに、訪問による営業を自粛し、ダイレクトメールやチラシのポスティングをメインとした営業活動を行い、収益確保に努めました。

11月には農業事業として、鹿児島県始良市に完全人工光型植物工場「ミスミ野菜工場始良」を竣工し、水耕栽培による野菜の生産・販売を開始いたしました。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、エネルギー関連商品の販売価格が上昇したことにより、当連結会計年度の売上高は612億66百万円(前期比16.7%増)となりましたが、利益面では、石油関連商品の仕入価格上昇に見合う販売価格への転嫁が図れなかったことで、経常利益は13億83百万円(前期比22.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は4億85百万円(前期比27.5%減)となりました。なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等の適用により、売上高は33億47百万円減少し、営業利益、経常利益はそれぞれ14百万円増加しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、入札案件の情報を迅速に収集し、効率的な入札への参加を実施することで販売数量の増加を図りました。採算の悪化していたセルフ24新栄SS(鹿児島市)を10月末で閉店いたしました。

ガス部門では、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、訪問による営業を自粛し、ダイレクトメールやチラシのポスティングをメインとした営業活動を行い、収益確保に努めました。

以上の結果、エネルギー関連商品の販売価格が上昇したことにより、売上高は471億45百万円(前期比23.3%増)となりましたが、利益面では、石油関連商品の仕入価格上昇に見合う販売価格への転嫁が図れなかったことで、セグメント利益(営業利益)は9億32百万円(前期比16.7%減)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は33億88百万円減少し、営業利益、経常利益はそれぞれ14百万円増加しております。

#### 2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、話題作コミックの複数展開と在庫強化、児童書と季節商材の拡販を実施するとともに、アプリ会員の獲得を強化し、顧客の囲い込みを図りました。採算の悪化していたブックスミスミ加治木パイパス店(鹿児島県始良市)を9月末で閉店いたしました。

オプシアミスミでは、インスタグラム等のSNSを告知・宣伝媒体として活用し、販売促進に努めました。

以上の結果、売上高は78億53百万円(前期比2.4%減)、セグメント利益(営業利益)は1億60百万円(前期比38.9%減)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用による影響額は軽微であります。

#### 3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力形態であるKFCにおいて、店舗のリニューアルを進めるとともに、ロス削減によるフードコスト管理を徹底し、利益改善に努めました。また、地方自治体による営業時間の時短要請に応じた店舗の影響で売上高の減少が予想されましたが、前期から引き続きKFCのテイクアウト需要が多く、実施したキャンペーンが好調だったこともあり、売上高は前年をやや上回りました。11月には鹿児島県指宿市にKFC指宿店、3月には熊本市南区にKFC熊本富合店をオープンいたしました。

以上の結果、売上高は62億68百万円(前期比0.9%増)となりましたが、料率の変更に伴うロイヤリティの増加に加え、配達代行サービス導入に伴う手数料が増加したことから、セグメント利益(営業利益)は5億57百万円(前期比19.3%減)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用による影響額は軽微であります。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて13億61百万円増加し、360億49百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少する一方、受取手形及び売掛金や繰延税金資産が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて13億92百万円増加し、186億19百万円となりました。これは主に、未払金が減少する一方、買掛金や長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて31百万円減少し、174億29百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金や自己株式が減少したこと等によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、仕入債務の増加9億36百万円、減価償却費8億48百万円及び税金等調整前当期純利益8億43百万円等の資金の増加がありましたが、固定資産の取得17億6百万円及び売上債権の増加15億53百万円等の資金の減少により、前連結会計年度に比べ2億55百万円減少し、当連結会計年度は33億87百万円(前期末比7.0%減)となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加額は、13億64百万円(前期末比20.7%減)となりました。これは主に、売上債権の増加15億53百万円及び法人税等の支払い5億13百万円等の資金の減少がありましたが、仕入債務の増加9億36百万円、減価償却費8億48百万円及び税金等調整前当期純利益8億43百万円等の資金の増加によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少額は、20億77百万円(前期末比73.0%増)となりました。これは主に、固定資産の取得17億6百万円及び投資有価証券の取得3億33百万円等の資金の減少によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の増加額は、4億57百万円(前期末は21億48百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払い2億60百万円等の資金の減少がありましたが、借入金の増加7億60百万円の資金の増加によるものであります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しについては、全社部門において、本社(鹿児島県鹿児島市)の建替工事を予定しております。

2023年3月期通期の見通しにつきましては、米国との金利差による為替変動に加え、ウクライナ問題に起因する資源価格の高騰が見込まれることから、売上高は640億200百万円、経常利益は11億31百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5億68百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内で事業を展開していることから、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,458,192	4,206,647
受取手形及び売掛金	4,670,287	—
受取手形	—	513,842
売掛金	—	5,700,341
商品及び製品	2,901,480	2,979,069
仕掛品	10,420	3,560
原材料及び貯蔵品	26,902	14,630
前払費用	77,624	77,891
その他	602,953	448,688
貸倒引当金	△19,241	△9,193
流動資産合計	12,728,621	13,935,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,770,203	13,149,487
減価償却累計額	△8,754,132	△8,930,576
建物及び構築物 (純額)	4,016,071	4,218,910
機械装置及び運搬具	4,400,588	4,567,210
減価償却累計額	△3,574,425	△3,710,937
機械装置及び運搬具 (純額)	826,162	856,272
工具、器具及び備品	2,545,719	2,587,224
減価償却累計額	△2,178,960	△2,251,034
工具、器具及び備品 (純額)	366,758	336,189
土地	11,497,413	11,401,425
リース資産	33,167	16,025
減価償却累計額	△22,963	△9,838
リース資産 (純額)	10,203	6,186
建設仮勘定	195,101	128,017
有形固定資産合計	16,911,711	16,947,004
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,574,768	2,585,714
長期貸付金	3,497	2,058
長期前払費用	78,124	53,251
退職給付に係る資産	597,721	619,981
繰延税金資産	12,475	143,075
差入保証金	871,148	914,205
その他	690,763	700,421
貸倒引当金	△170,230	△178,956
投資その他の資産合計	4,658,269	4,839,752
固定資産合計	21,958,853	22,113,669
資産合計	34,687,474	36,049,146

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,321,749	3,257,955
短期借入金	4,485,000	4,620,000
1年内返済予定の長期借入金	2,663,418	2,522,969
リース債務	5,402	3,285
未払金	1,128,815	840,616
未払費用	195,056	173,771
未払法人税等	419,488	338,085
未払消費税等	168,742	180,397
賞与引当金	310,670	325,630
その他	185,922	235,053
流動負債合計	11,884,265	12,497,764
固定負債		
長期借入金	3,479,219	4,245,000
リース債務	7,394	4,109
繰延税金負債	60,649	—
役員退職慰労引当金	732,530	759,620
資産除去債務	287,131	296,370
その他	775,582	816,699
固定負債合計	5,342,507	6,121,799
負債合計	17,226,772	18,619,564
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	13,506,877	13,738,031
自己株式	△552,815	△582,903
株主資本合計	16,291,562	16,492,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	806,821	583,103
退職給付に係る調整累計額	74,650	55,354
その他の包括利益累計額合計	881,471	638,458
非支配株主持分	287,667	298,494
純資産合計	17,460,701	17,429,581
負債純資産合計	34,687,474	36,049,146

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	52,496,656	61,266,804
売上原価	39,898,432	49,218,978
売上総利益	12,598,223	12,047,826
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	394,510	434,898
販売手数料	768,556	872,165
運搬費	106,829	107,639
貸倒引当金繰入額	—	729
給料及び手当	2,614,298	2,672,255
雑給	2,041,247	1,948,926
賞与引当金繰入額	302,475	316,010
役員退職慰労引当金繰入額	27,430	33,590
退職給付費用	171,827	81,638
水道光熱費	305,582	331,474
消耗品費	606,351	477,913
賃借料	691,085	670,050
減価償却費	586,294	663,663
その他	2,646,789	2,509,102
販売費及び一般管理費合計	11,263,278	11,120,056
営業利益	1,334,945	927,769
営業外収益		
受取利息	2,644	2,475
受取配当金	73,832	96,610
仕入割引	49,213	60,623
受取賃貸料	146,626	156,970
受取手数料	61,372	58,699
その他	245,818	230,285
営業外収益合計	579,506	605,664
営業外費用		
支払利息	49,237	49,893
売上割引	1,307	1,572
賃貸費用	33,759	38,955
固定資産除却損	27,545	45,249
その他	19,025	14,745
営業外費用合計	130,875	150,415
経常利益	1,783,575	1,383,018

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	2,533	4,592
受取保険金	157,012	—
特別利益合計	159,545	4,592
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	1	—
減損損失	644,665	543,863
災害による損失	64,451	—
特別損失合計	709,119	543,863
税金等調整前当期純利益	1,234,002	843,747
法人税、住民税及び事業税	616,159	434,060
法人税等調整額	△68,026	△92,704
法人税等合計	548,133	341,355
当期純利益	685,869	502,392
非支配株主に帰属する当期純利益	16,704	17,204
親会社株主に帰属する当期純利益	669,165	485,187

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	685,869	502,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	467,507	△223,717
退職給付に係る調整額	246,593	△18,928
その他の包括利益合計	714,100	△242,646
包括利益	1,399,969	259,745
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,377,947	242,174
非支配株主に係る包括利益	22,022	17,571

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,690,899	1,646,600	13,078,170	△143,004	16,272,666
当期変動額					
剰余金の配当			△240,459		△240,459
親会社株主に帰属する当期純利益			669,165		669,165
自己株式の取得				△409,810	△409,810
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	428,706	△409,810	18,895
当期末残高	1,690,899	1,646,600	13,506,877	△552,815	16,291,562

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	339,314	△166,625	172,689	272,390	16,717,746
当期変動額					
剰余金の配当					△240,459
親会社株主に帰属する当期純利益					669,165
自己株式の取得					△409,810
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	467,507	241,275	708,782	15,277	724,059
当期変動額合計	467,507	241,275	708,782	15,277	742,955
当期末残高	806,821	74,650	881,471	287,667	17,460,701

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,690,899	1,646,600	13,506,877	△552,815	16,291,562
会計方針の変更による累積的影響額			6,256		6,256
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,690,899	1,646,600	13,513,133	△552,815	16,297,818
当期変動額					
剰余金の配当			△260,289		△260,289
親会社株主に帰属する当期純利益			485,187		485,187
自己株式の取得				△30,088	△30,088
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	224,898	△30,088	194,810
当期末残高	1,690,899	1,646,600	13,738,031	△582,903	16,492,628

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	806,821	74,650	881,471	287,667	17,460,701
会計方針の変更による累積的影響額					6,256
会計方針の変更を反映した当期首残高	806,821	74,650	881,471	287,667	17,466,957
当期変動額					
剰余金の配当					△260,289
親会社株主に帰属する当期純利益					485,187
自己株式の取得					△30,088
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△223,717	△19,295	△243,013	10,827	△232,186
当期変動額合計	△223,717	△19,295	△243,013	10,827	△37,375
当期末残高	583,103	55,354	638,458	298,494	17,429,581

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,234,002	843,747
減価償却費	743,141	848,075
減損損失	644,665	543,863
固定資産除却損	27,545	45,249
のれん償却額	46,030	43,538
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,731	△1,321
賞与引当金の増減額 (△は減少)	41,610	14,960
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	27,430	27,090
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△307,483	△22,260
受取利息及び受取配当金	△76,476	△99,085
支払利息	49,237	49,893
固定資産売却損益 (△は益)	△2,531	△4,592
災害損失	64,451	—
受取保険金	△157,012	△6,831
売上債権の増減額 (△は増加)	△469,670	△1,553,103
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△250,223	△58,456
仕入債務の増減額 (△は減少)	397,753	936,206
その他	147,594	217,192
小計	2,154,333	1,824,165
利息及び配当金の受取額	74,101	96,736
利息の支払額	△48,112	△49,774
災害損失の支払額	△41,270	—
保険金の受取額	157,012	6,831
法人税等の支払額	△575,455	△513,167
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,720,611	1,364,791
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△3,602
固定資産の取得による支出	△1,202,341	△1,706,902
固定資産の売却による収入	6,990	5,126
投資有価証券の取得による支出	△32,562	△333,541
投資有価証券の売却による収入	—	700
差入保証金の差入による支出	△3,600	△45,319
差入保証金の回収による収入	29,181	4,636
貸付けによる支出	△462	—
貸付金の回収による収入	6,752	1,439
その他	△5,249	△450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,201,293	△2,077,915

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	230,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△30,000	△65,000
長期借入れによる収入	1,200,000	3,500,000
長期借入金の返済による支出	△2,880,352	△2,874,668
リース債務の返済による支出	△11,157	△5,402
自己株式の取得による支出	△409,810	△30,088
配当金の支払額	△240,163	△260,120
非支配株主への配当金の支払額	△6,744	△6,744
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,148,228	457,975
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,628,910	△255,147
現金及び現金同等物の期首残高	5,271,401	3,642,490
現金及び現金同等物の期末残高	3,642,490	3,387,342

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<p>(収益認識に関する会計基準等の適用)</p> <p>「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる主な変更点は、エネルギー関係の収益につきましては、従来は、第三者のために回収する間接税を含めた総額で収益を認識しておりましたが、間接税を除いた金額で収益を認識することとしております。また、ガスの収益につきましては、従来は、検針日基準に基づき収益を認識しておりましたが、検針日以降から決算日までの期間に生じた収益を見積って会計期間に応じた収益を認識する方法に変更しております。</p> <p>収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。</p> <p>また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形」及び「売掛金」に含めて表示しております。ただし、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。</p> <p>この結果、収益認識会計基準等の適用を行う前と比べて、当連結会計年度の連結貸借対照表は、利益剰余金が6,256千円増加しております。当連結会計年度の連結損益計算書は、売上高は3,347,386千円減少し、売上原価は3,270,343千円減少し、販売費及び一般管理費も91,062千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ14,019千円増加しております。</p> <p>当連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書は、税金等調整前当期純利益が14,019千円増加しております。</p> <p>当連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の期首残高は6,256千円増加しております。</p> <p>(時価の算定に関する会計基準等の適用)</p> <p>「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。</p>

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業は、事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「エネルギー」、「ライフスタイル」及び「フード&ビバレッジ」の3つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの内容

「エネルギー」は、主に石油・ガス関連商品の販売を行っております。「ライフスタイル」は、書籍、自動車、タイヤ及び住宅の販売、複合商業施設の運営等を行っております。「フード&ビバレッジ」は、ケンタッキーフライドチキンの販売等を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

会計方針の変更に記載のとおり、当連結会計年度に係る連結財務諸表から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当連結会計年度の「エネルギー」セグメントの売上高は3,388,794千円減少、セグメント利益は14,019千円増加しております。「ライフスタイル」セグメント及び「フード&ビバレッジ」セグメントへの影響額は軽微であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,240,118	8,043,341	6,213,196	52,496,656	—	52,496,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,207	95,497	7	112,712	△112,712	—
計	38,257,326	8,138,838	6,213,203	52,609,368	△112,712	52,496,656
セグメント利益	1,118,357	262,340	690,975	2,071,673	△736,728	1,334,945
セグメント資産	13,719,496	9,373,647	2,640,028	25,733,173	8,954,301	34,687,474
その他の項目						
減価償却費	381,711	164,329	123,471	669,512	73,628	743,141
のれんの償却額	46,030	—	—	46,030	—	46,030
減損損失	539,222	—	89,188	628,411	16,254	644,665
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,011,082	32,381	342,701	1,386,165	80,236	1,466,401

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△736,728千円には、セグメント間取引消去3,345千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△740,073千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額8,954,301千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産9,041,294千円及び固定資産の未実現利益調整額△86,993千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資産(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び事務部門にかかる資産等であります。
  - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額80,236千円は、主に事務部門にかかる設備投資額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,145,284	7,853,030	6,268,490	61,266,804	—	61,266,804
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,454	89,229	11	110,694	△110,694	—
計	47,166,738	7,942,259	6,268,501	61,377,499	△110,694	61,266,804
セグメント利益	932,063	160,351	557,927	1,650,342	△722,572	927,769
セグメント資産	15,779,803	9,094,895	2,898,521	27,773,220	8,275,925	36,049,146
その他の項目						
減価償却費	422,554	161,488	181,747	765,790	82,285	848,075
のれんの償却額	43,538	—	—	43,538	—	43,538
減損損失	91,272	27,022	425,568	543,863	—	543,863
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	594,035	34,307	636,638	1,264,980	128,970	1,393,950

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△722,572千円には、セグメント間取引消去3,565千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△726,138千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額8,275,925千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産8,359,364千円及び固定資産の未実現利益調整額△83,438千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資産運用資産(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び事務部門にかかる資産等であります。
  - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額128,970千円は、主に事務部門にかかる設備投資額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	2,967円04銭	2,968円41銭
1株当たり当期純利益	112円85銭	83円95銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

- 2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	669,165	485,187
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	669,165	485,187
普通株式の期中平均株式数(株)	5,929,433	5,779,763

## 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当連結会計年度末 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	17,460,701	17,429,581
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	287,667	298,494
(うち非支配株主持分(千円))	(287,667)	(298,494)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	17,173,034	17,131,087
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	5,787,934	5,771,134

## (重要な後発事象)

## (取得による企業結合)

当社は、2022年5月12日開催の取締役会において、株式会社石井商店の全株式を取得して子会社化することを決議いたしました。また、2022年5月下旬に株式を取得することで子会社化する予定であります。なお、株式会社石井商店を子会社化することに伴い、同社の子会社であります株式会社エスジー宮崎が当社の孫会社となる予定であります。

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社石井商店  
事業の内容 L Pガス及び器具の販売等

## ② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、エネルギー、ライフスタイル、フード&ビバレッジの3つの事業領域を中心にお客様の暮らしに必要なサービス、商品を提供しております。

株式会社石井商店は宮崎県を中心にL Pガス及び器具の販売等を行っております。株式会社石井商店が持つ宮崎県内での販売網と情報を共有することによりエネルギー事業の宮崎県内での事業拡大を図れること等、当社グループの成長及び企業価値の向上を見込めることから同社の株式を取得することといたしました。

## ③ 企業結合日

2022年5月下旬(予定)

## ④ 企業結合の法的形式

株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

結合後の企業の名称に変更予定はありません。

## ⑥ 取得する議決権比率

100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

## (2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

当事者間の合意により非開示とさせていただきます。

## (3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

## (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

## (5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

## 4. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,309,067	4,059,466
受取手形	383,887	443,176
売掛金	3,964,920	5,470,246
商品及び製品	2,744,394	2,831,715
仕掛品	10,003	3,560
原材料及び貯蔵品	26,902	14,630
前払費用	74,928	75,305
その他	604,160	453,267
貸倒引当金	△19,001	△8,950
流動資産合計	12,099,263	13,342,419
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,086,685	3,124,061
構築物	944,022	1,106,183
機械及び装置	666,582	740,350
車両運搬具	143,971	117,248
工具、器具及び備品	360,645	331,349
土地	11,421,794	11,325,806
リース資産	10,203	6,186
建設仮勘定	195,101	112,033
有形固定資産合計	16,829,006	16,863,220
無形固定資産		
のれん	112,254	105,386
ソフトウェア	212,774	177,489
ソフトウェア仮勘定	20,162	—
その他	42,005	42,360
無形固定資産合計	387,196	325,236
投資その他の資産		
投資有価証券	2,574,683	2,585,629
関係会社株式	124,239	124,239
長期貸付金	3,497	2,058
破産更生債権等	126,565	135,773
長期前払費用	78,124	53,251
前払年金費用	463,921	505,193
繰延税金資産	—	155,520
差入保証金	864,315	907,682
その他	500,659	501,084
貸倒引当金	△164,316	△173,042
投資その他の資産合計	4,571,691	4,797,391
固定資産合計	21,787,894	21,985,848
資産合計	33,887,158	35,328,268

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,166,726	3,100,601
短期借入金	4,335,000	4,470,000
1年内返済予定の長期借入金	2,656,818	2,520,014
リース債務	5,402	3,285
未払金	1,131,125	851,189
未払費用	191,474	171,189
未払法人税等	390,500	318,395
未払消費税等	129,915	155,881
預り金	402,731	439,901
賞与引当金	258,000	271,000
その他	106,740	145,233
流動負債合計	11,774,434	12,446,692
固定負債		
長期借入金	3,476,264	4,245,000
リース債務	7,394	4,109
繰延税金負債	32,769	—
役員退職慰労引当金	732,530	759,620
資産除去債務	287,131	296,370
その他	774,382	814,899
固定負債合計	5,310,472	6,119,999
負債合計	17,084,906	18,566,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金		
資本準備金	1,646,341	1,646,341
資本剰余金合計	1,646,341	1,646,341
利益剰余金		
利益準備金	116,139	116,139
その他利益剰余金		
特別償却準備金	11,209	5,227
別途積立金	6,309,403	6,309,403
繰越利益剰余金	6,774,250	6,993,363
利益剰余金合計	13,211,003	13,424,134
自己株式	△552,815	△582,903
株主資本合計	15,995,429	16,178,471
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	806,821	583,103
評価・換算差額等合計	806,821	583,103
純資産合計	16,802,251	16,761,575
負債純資産合計	33,887,158	35,328,268

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	50,465,406	59,211,402
売上原価	38,369,504	47,627,363
売上総利益	12,095,902	11,584,038
販売費及び一般管理費	10,838,149	10,722,019
営業利益	1,257,752	862,018
営業外収益		
受取利息	2,642	2,469
受取配当金	80,841	103,345
受取賃貸料	156,723	168,147
雑収入	341,720	333,286
営業外収益合計	581,927	607,250
営業外費用		
支払利息	49,563	50,757
賃貸費用	35,071	39,928
雑損失	49,870	55,671
営業外費用合計	134,505	146,357
経常利益	1,705,174	1,322,911
特別利益		
固定資産売却益	2,486	3,961
受取保険金	157,012	—
特別利益合計	159,499	3,961
特別損失		
減損損失	645,304	543,863
災害による損失	62,814	—
特別損失合計	708,118	543,863
税引前当期純利益	1,156,555	783,009
法人税、住民税及び事業税	581,732	408,704
法人税等調整額	△68,070	△92,857
法人税等合計	513,661	315,846
当期純利益	642,893	467,162

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
				特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,690,899	1,646,341	1,646,341	116,139	17,695	6,309,403	6,365,331	12,808,569
当期変動額								
特別償却準備金の取崩					△6,485		6,485	—
剰余金の配当							△240,459	△240,459
当期純利益							642,893	642,893
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	△6,485	—	408,919	402,434
当期末残高	1,690,899	1,646,341	1,646,341	116,139	11,209	6,309,403	6,774,250	13,211,003

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△143,004	16,002,806	339,314	339,314	16,342,120
当期変動額					
特別償却準備金の取崩		—			—
剰余金の配当		△240,459			△240,459
当期純利益		642,893			642,893
自己株式の取得	△409,810	△409,810			△409,810
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			467,507	467,507	467,507
当期変動額合計	△409,810	△7,376	467,507	467,507	460,130
当期末残高	△552,815	15,995,429	806,821	806,821	16,802,251

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
					特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	1,690,899	1,646,341	1,646,341	116,139	11,209	6,309,403	6,774,250	13,211,003
会計方針の変更による累 積的影響額							6,256	6,256
会計方針の変更を反映した 当期首残高	1,690,899	1,646,341	1,646,341	116,139	11,209	6,309,403	6,780,507	13,217,260
当期変動額								
特別償却準備金の取崩					△5,982		5,982	—
剰余金の配当							△260,289	△260,289
当期純利益							467,162	467,162
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	△5,982	—	212,855	206,873
当期末残高	1,690,899	1,646,341	1,646,341	116,139	5,227	6,309,403	6,993,363	13,424,134

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△552,815	15,995,429	806,821	806,821	16,802,251
会計方針の変更による累 積的影響額		6,256			6,256
会計方針の変更を反映した 当期首残高	△552,815	16,001,685	806,821	806,821	16,808,507
当期変動額					
特別償却準備金の取崩		—			—
剰余金の配当		△260,289			△260,289
当期純利益		467,162			467,162
自己株式の取得	△30,088	△30,088			△30,088
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△223,717	△223,717	△223,717
当期変動額合計	△30,088	176,785	△223,717	△223,717	△46,932
当期末残高	△582,903	16,178,471	583,103	583,103	16,761,575

## 5. その他

### (1) 役員の変動

#### ① 代表者の変動

該当事項はありません。

#### ② その他の役員の変動(2022年6月23日付予定)

##### 1. 新任取締役候補

取締役 的場 勝彦

##### 2. 新任取締役(監査等委員)候補

取締役(監査等委員) 今田 和孝

取締役(監査等委員) 宮澤 章

##### 3. 退任予定取締役

取締役 神野 直也

##### 4. 退任予定取締役(監査等委員)

取締役(監査等委員) 濱島 健一

取締役(監査等委員) 山口 亮

(注) 新任取締役(監査等委員)候補 宮澤 章氏は、社外取締役であります。